

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

施 策 名 (小項目)	行政運営改革	コード	作 成 者	役 職	総務部総務課長
		06-01-01	谷本 隆二	氏名	谷本 隆二
			電 話	64-1872	
			このシート作成に要した時間	1.5 時間	

この施策の アピール ポイント	行政評価システムを活用し、事業及び予算の選択と集中を行うとともに、持続可能な行政経営（マネジメント）を目指しています。
-----------------------	---

この施策の 平成24年度の 施政方針	行政運営改革等についてであります、「合併算定替え」による地方交付税の減額調整が始まるまであと3年となりました。 交付税の急激な削減に備えるため、また、これまで以上の財政健全化を図るため、集中改革プランを引き継ぐ形で、「行財政改革プラン」を平成22年度に策定しましたが、国や県の政策も刻々と変化中、プランの実行以外にも、引続き行政評価により、事務事業の不断の見直しを行っていかねばなりません。 行政評価については、「備前市まちづくり基本条例」の中で規定されており、その中で、内部評価と外部評価の両方を実施するよう要請されています。内部評価については、その精度をますます高めることにより、選択と集中による効率的な行政運営に引続き取り組んでまいります。外部評価については、23年度において本格導入への前段として、また資料収集を目的として、公募により講座形式による試行を行いました。24年度も同様に講座形式により試行し、本市に見合った外部評価の導入に取り組んでまいります。
--------------------------	--

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標（大項目）	健全で自立したまちづくり
	基本施策（中項目）	簡素で効率的な行財政運営
対象と目的 (誰のために、何のために)	市の提供する行政サービスを受けるすべての市民または、市職員・施策及びそれを構成する事務事業並びにその対象となる市民	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	事務事業の見直し、民間委託への推進など各種の改革を実施しているが、効果的・効率的な行政運営が課題となっていることから、職員が改善意識を持ち、成果とコストを重視し、行政運営に携わる必要がある。また、事務事業評価シート・施策評価シートの作成に要する時間が大きくなりすぎるとの批判があるため、新総合福祉計画との整合作業の中で、法定受託事務の簡略化など見直しを図る必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 行政評価システムの活用 民間委託などの推進 目標管理制度と行政評価システムとの連動 	

施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名	単 位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H22	H23	H24		H25	H28
成果指標 施策評価の成果指標目標値の達成率	目標	%	32.0	40.0		H25	45.0
	実績	%	37.8			H28	50.0
	達成率	%	118.1			-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標 行財政改革プラン進捗率	目標	%	70.0	75		H25	75.0
	実績	%	67.4	62		H28	80.0
	達成率	%	103.9	120.2		-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標 行財政改革プラン効果額	目標	千円	368,180	400,141		H25	500,298
	実績	千円	1,098,725	619,268		H28	685,632
	達成率	%	298.4	154.8		-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標 市の行政改革は進んでいると感じている市民の割合	目標	%		20.0		H25	20.0
	実績	%		6.9		H28	50.0
	達成率	%		289.9		-	-
	ベンチマーク					-	-

目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

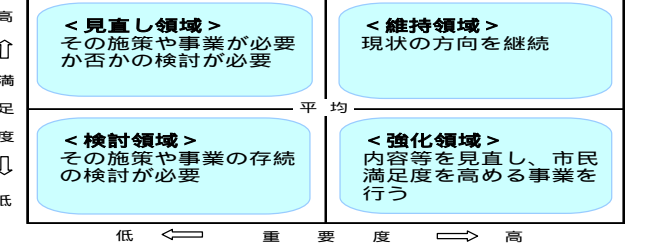
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
企画課	新総合計画の作成	行政評価で取り入れている成果指標、数値目標を生かした市民に分かりやすい新総合計画を作成する

施策の評価

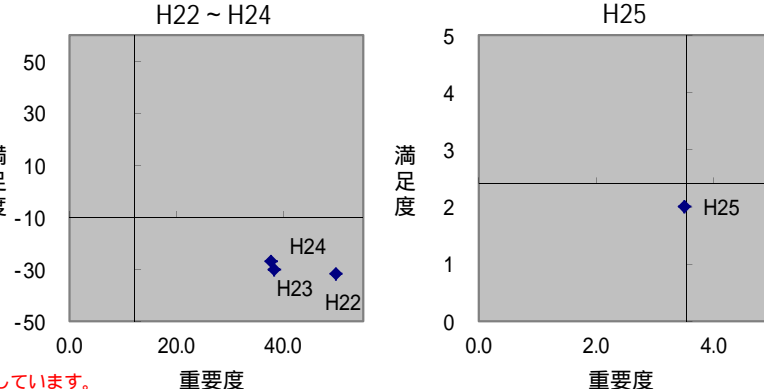
項 目	評価	5：非常に高い 4：高い 3：どちらともいえない 2：低い 1：非常に低い				
		判 断 理 由（なぜ、そのランクと評価したのか）				
1	< 成果指標の妥当性 > 施策の目的・成果を表現しているか？	4	本市の最上位計画である総合計画を健全財政を目指しながら実現していくために妥当な指標である。 ・各施策の成果指標目標値の達成は総合計画の実現にリンク ・行財政改革プランの目標達成は健全財政の維持にリンク			
2	< 事業構成の適当性 > 手段は最適か？	4	行政評価の導入と行財政改革プランの策定、実施により、効果的・効率的な行財政運営が可能となることから、事業構成は適当である。			
3	< 施策の有効性 > 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは？	3	平成22年度に策定した行財政改革プランの積極的な取り組みにより、大きな効果額を生んでいるが、その効果を継続させる必要がある。			
進行年度(H25年度)の取組内容 (課題解決状況)		事務事業評価シート・施策評価シートの作成について、新総合福祉計画との整合作業の中で、法定受託事務の簡略化など見直しを図る。 市民意識調査の隔年実施と外部評価の検討をする。				
翌年度(H26年度)の取組目標		新総合福祉計画とH25実施の機構改革との調整作業を行う中で、行政運営改革の方向性を確立していく。				
二次評価者コメント		行財政改革の内容や効果、行政評価の結果は、表やグラフを用いてわかりやすく取りまとめ、市民に積極的に公表してください。				基本施策への 貢献度 5 高い

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度 (%)	49.9	38.3	37.7	3.5
満足度 (%)	- 31.7	- 30.0	- 26.8	2.0



横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	H25からグラフの指標が変わったため年度推移比較ができないが、後年度において満足度が向上していく取り組みを展開していく必要がある。
---------------------	---

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）									施策への 貢献度		
			平成22年度			平成23年度			平成24年度				平成25年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数		当初予算	
1 行財政改革推進事業	集中改革プラン進捗管理事務	内部管理	0	557	0.06								* H22終了	
	行財政改革プラン策定事業	内部管理	0	2,315	0.26								* H22終了	
	行財政改革プラン進捗管理事務	内部管理				0	556	0.07	0	1,205	0.13	0		
	内部統制システム構築事業	内部管理	0	1,813	0.21	0	476	0.06	0	649	0.07	0		
	権限移譲事務	内部管理	0	589	0.07	0	635	0.08	0	742	0.08	0		
	第三セクター調査事務	内部管理	0	634	0.07	0	238	0.03	0	93	0.01	0		
	職員提案事務	内部管理	0	100	0.01	0	476	0.06	0	1,298	0.14	100		
	機構改革事務	内部管理												* 未実施
	指定管理者制度導入支援事務	内部管理	0	1,169	0.13	0	905	0.11	0	1,205	0.13	0		
	債権管理部門導入事務	内部管理				0	1,509	0.19	0	835	0.09	0		
2 行政評価システム導入事業	システム導入支援委託	内部管理	1,749	78	0.01	1,460	79	0.01	1,460	93	0.01	1,460		
	行政評価システム研究会運営事務	内部管理	0	735	0.08	0	667	0.08	0	573	0.06	0		
	事務事業評価事務	内部管理	0	2,658	0.31	0	2,144	0.27	0	1,855	0.20	0		
	市民意識調査事務	内部管理	267	1,580	0.18	287	1,429	0.18	257	1,947	0.21	387		
	施策評価事務	内部管理	0	2,839	0.31	0	3,812	0.48	0	4,080	0.44	0		
	まちづくり市民講座運営事務	内部管理	0	106	0.01	0	874	0.11	0	1,484	0.16	0		
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
			2,016	15,173	1.71	1,747	13,800	1.73	1,717	16,059	1.73	1,947		